

わたしたちの技術をご活用下さい。

特殊製品紹介

わたしたちのワザ(技術)を是非ご活用ください。

▶▶ 特許出願中製品

▶▶ 開発準備中製品

特許出願中製品

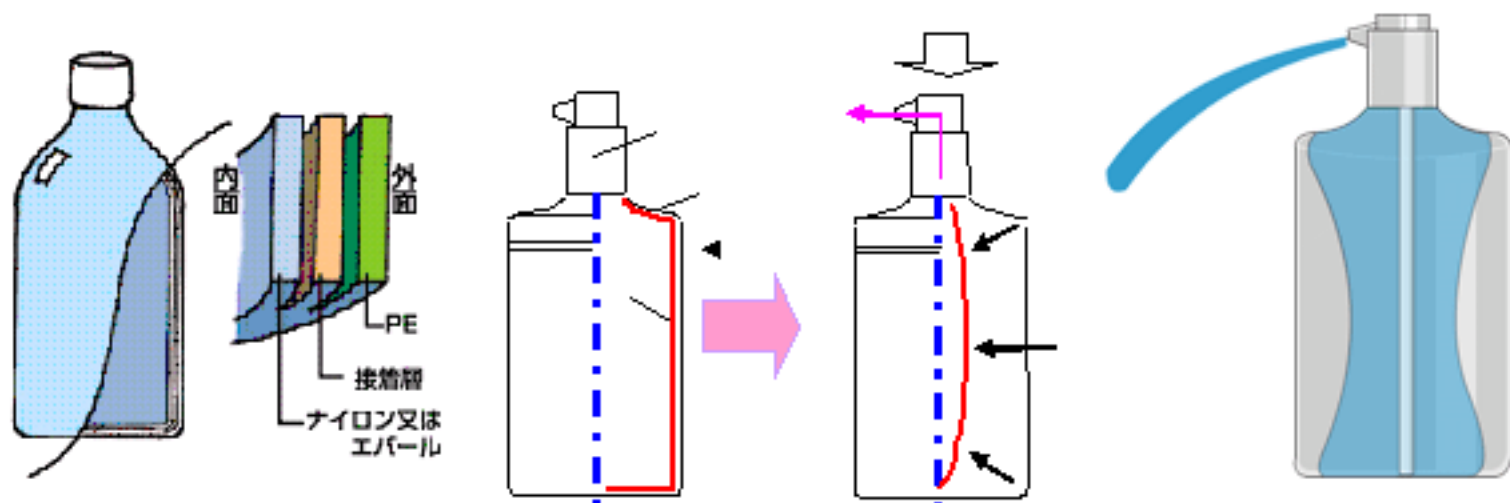
計量ボトル



- (1) 本体タンクに液体を入れタンクのキャップを閉める
- (2) 計量タンクのキャップを緩めボディ部を押すと、液体がノズルを通過し計量タンクへ移動する
- (3) 計量部の入れ目を見ながら必要量の計測が可能
- (4) 計量タンクから溢れる手前で押す手を緩めれば、自然に40mlにおさまる
- (5) 現在は10ml間隔で目盛り線を入れてある

発明の名称	計量容器		
出願番号	特許出願2003-405908	出願日	2003年12月4日
公開番号	特許公開2005-162290	公開日	2005年6月23日
出願人	株式会社日本興産	発明者	上地 護仁
【課題】	計量のための操作が簡単で、計量容器の構造が簡単で、製造費を低くすることができる、液体計量容器を提供する。		
【解決手段】	液体計量容器として、上部に開口部を有する弾性変形可能な液体収容部と、計量室と、該液体収容部の側壁底に設けられた孔と該計量室の側壁上部に設けられた孔とを連通する揚液パイプと、を備える構造をもたせ、前記開口部は、着脱自在な蓋で密封できるようにした。		

エアレスボトル



発明の名称	エアレス容器		
出願番号	特許出願2005-232235	出願日	2005年8月10日
公開番号	特許公開2007-45473	公開日	2007年2月22日
出願人	株式会社日本興産	発明者	上地 護仁
【目的】	外部が十分な剛性と美観を有し、内部が十分な収縮性を有し、内容物を余さず使い切ることができ、空気中の雑菌が混入することがなく衛生的で、大きな容器から小さいものまで容積に関係なく外部本体容器と内部袋体容器とを一工程で比較的廉価に製造することができるエアレスポンプの実現を目的とする。		
【構成】	通気性の硬質樹脂層と、気体及び液体バリア性を有する軟質樹脂層と、両者を接着する接着剤層を含む多層構造を有し、この多層構造を基に硬質樹脂層を外側に吹成形(成型)法で容器を成形(成型)した後、この容器に内容物を充填し、その後、エアレスポンプを取り付ける。		
【解決しようとする課題】	衛生面、内容物の使い切り、交換、廃棄などを考慮したエアレス容器は、いくつかの種類のもので市場に出回り始めているが、構造的に精度が要求されたり、特殊な材料や特別な製造工程を必要とするため、比較的高価であった。 本発明はこの問題を解決して、本体容器と袋体容器とを一工程で廉価に作成することができ、袋体容器がパウチに準じた吐出内圧による収縮性を有し、内容物を余さず使い切ることができ、使い捨て可能なエアレス容器の実現を課題とする。		

この道25年!プラスチック成形の専門家

どんな企画でも、お気軽にご相談下さい。

株式会社日本興産 電話 048-563-3934 FAX 048-563-3937

